



地理空間情報活用推進基本計画が改訂されました

地理空間情報活用推進基本計画(第3期)が、G特(3/7開催)の審議を経て、閣議決定されました。(3/24閣議決定)

- 今までG特では政府に、
①G空間情報センターの構築、
②防災システム構築、
③IT農林水産業、
④地域・中小企業活性化、
⑤海外展開

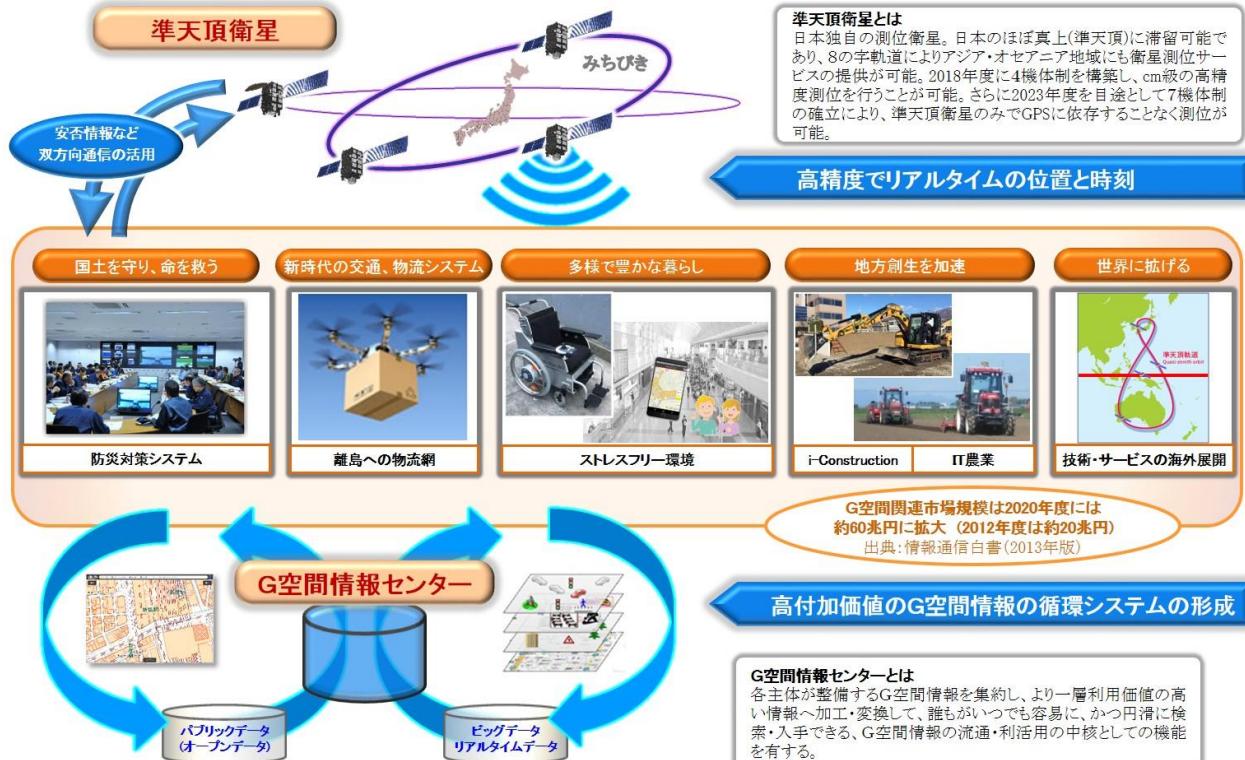
の5分野について早期の事業化を要請してきました。昨年度までの社会実証事業等を通じてさまざまな分野の技術が蓄積されました。これからはいよいよ社会実装の段階です。

第3期ではG空間プロジェクトを「第4次産業革命～IoT、ビッグデータ、AI～」を支える基幹プロジェクトに位置付け、G空間社会実現の為の使命(Mission)、目標(Vision)、手段(Approach)が明記され、前述の5分野について、事業実現の為のアクションとしての具体策13項目が「シンボルプロジェクト」として取り上げられています。そして、それらの工程表及びKPIも示されています。

今後、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年を一つのターゲットとして、シンボルプロジェクトを実現していくこととなります。G特では進捗状況、課題等を適宜把握し、世界最先端のG空間社会の実現を目指します。

(基本計画(第3期)の詳細については、G特(3/7開催)配布資料をご参照ください。)

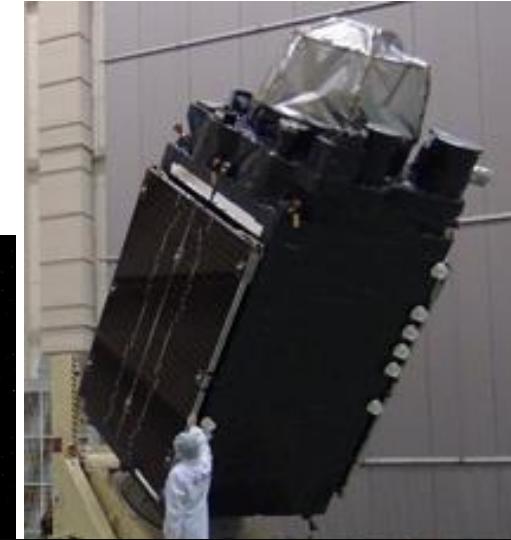
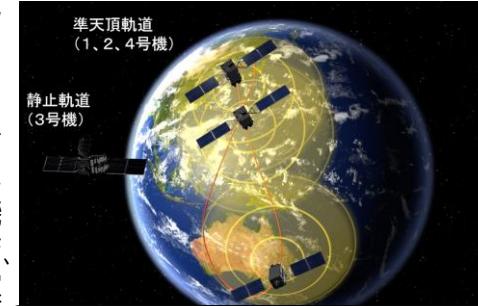
G空間社会のイメージ



準天頂衛星2号機が6月1日に打上げられます

準天頂衛星「みちびき2号機」を搭載したH2Aロケット34号機が、6月1日午前9時20分頃に鹿児島県の種子島宇宙センターから打ち上げられる予定です。

日本のほぼ真上を通る軌道を持つ「みちびき」は、山間部やビルの谷間などにも電波を送ることができ、米国の全地球測位システム(GPS)を補完・補強し、より精度の高い位置情報を提供します。年内に2~4号機の計3機を打ち上げる予定で、来年度からの本格運用を目指します。



準天頂衛星利活用に係るPRビデオ http://qzss.go.jp/overview/download/movie_qzss.html
準天頂衛星打ち上げ特設サイト <http://michibiki.space/>

地理空間情報活用推進室が設置されました

G特では、各省庁が連携しG空間関連施策を総合的、かつ効率的に推進する為、政府に司令塔の設置を要請してきました。

今後、各種のG空間関連施策の実施、社会実装に向けた取組を推進する中で、個々の事業推進の立場を超えた立場から、各省庁の取組の整合性を確保し、全体最適を図ることが重要となってきます。

これに呼応して政府は、各府省に対する強い指導性を発揮し、G空間情報の利活用を一層推進すべく、内閣官房に、専門的かつ強力な推進体制として、地理空間情報活用推進室を設置しました。(4/1設置)

